

創立30周年記念 卒業生 藤田菜七子へのスペシャルインタビュー 記録

R2.10.21 (水)

生徒会のみなさんが、けやき台中学校卒業生、藤田菜七子騎手へリモートインタビューさせていただきました♪貴重なインタビューの様子を、ボク、「けやっきー」が取材させてもらったよ！
けやき台中のみんなと、藤田さんがリモートでつながった様子、余すところなく、お届けします！！



け：けやき台中生徒 藤：藤田菜七子さん

——けやき台中生徒会全員が、各自自己紹介した後、インタビューを始めました——

け：それでは、よろしくお願いします。

藤：よろしくお願いします。

け：最初に、けやき台中学校での一番の思い出を聞かせてください。

藤：そうですね。私がけやき台中学校にいたのは10年くらい前になるのですが…。今、みなさんの制服姿を見て、すごく懐かしいなと思いました。一番の思い出は、私は剣道部に所属していて、中学校3年生の時の試合の事を今でもよく覚えています。一番の思い出は、それだなと思います。

け：好きな行事はありましたか？

藤：え～と、今でもあるかどうか分からないのですが、「クラスマッチ」がすごく好きでした。クラスみんなで1つになって、協力して勝ちたい！という雰囲気があったので、とても楽しい行事だなと思っていました。

け：中学校時代に、タイムスリップできたら、何がしたいですか？

藤：タイムスリップできたら…。そうですね。タイムスリップしなくても…今、もっとやっておけば良かったなあと少し後悔していることなんですけど、英語の勉強をもっとやっておけば良かったと思うことがあります。今、英語を使う機会があるので、その時からもっともっと真面目に取り組んでいければ良かったと思うことがあります。

け：騎手を目指したきっかけを教えてください。

藤：騎手を目指したのは、小学校6年生くらいの時だったと思うのですが、休日にたまたま競馬のテレビを見て、初めて見る競馬中継の騎手と馬がとてもカッコよく見えたんです。それで、騎手になりたいなと思いました。

け：今までで一番嬉しかったことは何ですか？

藤：嬉しかったことは…目指していた騎手になるための「競馬学校」という中学卒業後に3年間通う、高校の変わりのような学校があるのですが、そこに合格したときも嬉しかったですし、そこを卒業してレースで初めて勝てたときも、本当に嬉しかったですね。

け：大切なレースみたいなものはあるんですか？

藤：大切なレース？あ、一番覚えているのは、その初勝利の時のレースは、もう4・5年前になるんですけど、今でも鮮明に覚えています。そのレースと、去年の年末にGⅢ（競馬にはGⅠ、GⅡ、GⅢと言う名前のついた大きなレースがあります）という大きな規模のレースに勝てたことはとても嬉しかったです。

け：先ほどの、競馬学校についてなのですが、そこにはどうやったら入学することが出来るんですか？

藤：騎手になりたい人たちが入学する学校なのですが、騎手はとても体重制限などが厳しく、決められた体重（鞍などを含めた重さ）で乗らなくてはいけないので、自己管理で体重を制限できるかどうか、乗馬の技術がどのくらいあるか等の試験が3泊4日の合宿で試験が行われます。それを、みなさんが高校受験するシーズンの少し前くらいに受けます。倍率がとても高くて、1年に合格できる人数が7、8名。それに合格して3年間通うと騎手になれます。

け：大変だったときに心の支えにしていたものはありますか？

藤：そうですね。家族、母や父からのがんばってねという言葉はすごく支えになりましたし、あとは、中学時代の友人、剣道部で一緒だった友人などには今でも連絡を取っていて、励ましの言葉ももらったりするのは心の支えになっています。

け：これからの抱負を教えてください。

藤：抱負は……。先ほど出たGⅠという大きなレースに勝ちたいと言うのは、もちろんあるのですが、目の前のレースひとつひとつを大切に乘って1つでも多く勝ちたいですし、たくさんの人に信頼してもらえるような、愛してもらえるようなジョッキーになりたいと思います。

——ここからは、特別に、生徒会のみなさん個人個人で質問させていただきました♪——

け：競馬は、どんなところが楽しいですか？

藤：みなさんは、競馬を見たことがありますか？競馬というのは、人と馬で成り立つスポーツで、ギャンブルという一面もあるのですが、私は、魅力的なスポーツだと思っています。人がいくら技術を持っていても、馬が走らなければ勝つことが出来ません。馬と人が一緒に力を合わせることもとても大切で、そういったところが魅力だと思っています。テレビで見るのと、実際に競馬場に行ってみるとは、音や馬のtaccoよさや迫力が全然違うので、今はコロナの影響もあり難しいとおもいますが、ぜひ機会があったら、実際のレースを生で見て欲しいなと思います。

け：良く聞く歌は何ですか？

藤：私は、DISH//が好きなので、「猫」を聞いたりします。

け：ボクも水泳をやっているのですが、アスリートの先輩として、レース直前のリラックス方法を教えてください。

藤：私も、レース前に緊張してしまうことがあるのですが、直前で緊張してしまったときには、まず、深呼吸をすること、「自分なら出来る！」と思い込むことがすごく大事だと思っています。私もそれを先輩騎手の方から教えていただきました。日々の練習ももちろん大切ですが、レース前には自分なら出来るという強い気持ちを持つことが大事だなと感じています。



け：もし、騎手じゃなかったら何をしていますか？

藤：あまり考えたことはないですが……。高校大学と進学して……。それでも、馬に携わる仕事をしていました。馬を世話する人は「厩務員」というのですが、厩務員や乗馬クラブに務めたり、どんな形であれ馬に携わる仕事をしていたんじゃないかなと思います。

け：ゲームとかやったりしますか？

藤：ゲームはします。モンハンやってます（笑）

け：元気を出したいときに食べるものは何ですか？

藤：自分の中で決めているわけではないのですが、レースの前には、うどんを食べることが多いです。土曜日、日曜日の朝はうどんを食べて「頑張ろう！」という気持ちになります。そして、日曜日のレースが終わった後は自分の好きな物を食べます。

け：騎手になって良かったことはありますか？

藤：ずっと、騎手になりたいと思っていたのですが、騎手になるまでは、競馬学校の寮生活3年間は家に帰ることができなかつたり、同期も男の子しかいなかったりと、辛く感じたときもありました。でも、初めて1勝したときには、その、辛かったことを全て忘れるくらい嬉しかったです。毎週、1つ勝つたびに、「ああ、騎手になって良かったな」と心から思っています。

け：馬に乗るときに、心がけていることはありますか？

藤：馬も、一頭一頭性格が全然違います。すごく真面目な馬もいれば、全く走る気のない馬もいますし、パニックを起こしてしまうような馬もいます。その、一頭一頭に合わせた乗り方ができるようにいつも心がけています。今までたくさんの馬に乗せていただけてきたので、初めて乗る馬でも、今までに乗せてもらったことのあるあの馬に似ているなというのを考えながら、その馬が一番走りやすい状況を作ってあげることが大切だなと考えているので、それを意識して乗っています。

け：最後に、けやき台中学校の生徒にメッセージをお願いします。

藤：中学生という3年間は、今思い返すとあっという間だったなと思います。毎日を楽しんで欲しいなと思います。今、将来こうなりたいと決まっている人も、まだ、決まっていない人もいると思うのですが、焦る必要はないので、自分のペースでやりたいことや夢を見つけて、それに向かって突き進んで欲しいなと思います。



1人1人の質問全てに、うなずきながら優しく回答いただいた藤田さん♪

最初は緊張でカチコチだった生徒達も、藤田さんの笑顔で、だんだんとほぐれていき、自分なりの質問をすることが出来ました！

お忙しい中、放課後にあわせて時間を割いていただき、本当に、ありがとうございました。

ボク、“けやっきー”のモットー「夢に向かって明るくたくましく」は、卒業生に対しても、変わりません♪

これからも、生徒達のこと、藤田さんのこともたくさん応援していきたいと思います！！